

(参考様式第7号)

農用地等貸付申出書(農地中間管理事業)

記入例

令和 年 月 日

淡路市長

様

〒 〇 〇 〇 - 〇 〇 〇 〇

住所 淡路市〇〇〇〇地番

(フリガナ) アワジ マルタ

氏名 淡路 〇太 (署名又は押印) 登記名義人

電話番号 0799-〇〇-〇〇〇〇

農地中間管理事業を利用して、下記農用地等の貸付をしたいので、申出ます。なお、承諾事項については、全て同意します。

Table with 13 columns: 番号, 市町名, 大字, 小字, 地番, 登記面積, 取扱面積, 水張面積, 現況地目, ほ場整備の状況, 現在の作付作物, 貸付期間, 賃料, 賃料. Includes a note: 賃料がある場合は、どちらか記入

※1: 登記簿面積の一部を貸し付ける場合に記入 ※2: 賃料の算定面積とする場合に記入

Table with 8 columns: 番号, 土地改良の賦課金の状況, 相続未了の有・無, 自作, 貸付, 貸借契約制度の種類, 相続・共有の別, 氏名, 住所. Includes notes: ※3: 相続全員の同意が得られる見込みを記載 ※4: 農用地等の利用状況を記載

※3: 相続全員の同意が得られる見込みを記載 ※4: 農用地等の利用状況を記載

Table with 4 columns: 地域計画の区域, 内・外, その他の権利(地上権等), 有・無, 有の場合 権利名

承諾事項

- (1) 申し出のあった農用地等については、市町等が状況(現状、面積、権利関係など)を確認したうえで、借受希望者に情報提供すること。
- (2) 本申出書を提出しても、権利は移動しないため、借受希望者との調整が完了し、公益社団法人ひょうご農林機構(以下、「機構」という。)が所有者から農用地等を借り受けるまで、農用地等の管理は所有者が行うこと。
- (3) 借受希望者が見込まれないもの、農用地等として利用することが著しく困難なものなど、農地中間管理事業を活用できない場合があること。
- (4) 15年以上の借受期間を設定した農用地等については、土地改良法(昭和24年法律第195号)第87条の3第1項の土地改良事業が行われることがあること。
- (5) 機構が農用地等を借受ける場合、農用地利用集積等促進計画において、法令に基づき申出者の住所の市町名、氏名および借受農用地等が公表されること。

【留意事項】

- ① 申し出のあった農用地等の借受希望があった場合は、申出者に確認・連絡のうえ、借受希望者との調整に入っていきます。
- ② 農地中間管理事業は、市街化区域外の農用地等が対象です。
- ③ 機構が農用地等を借り受ける期間は、原則10年以上としています。